

第32号

発行日 平成29年2月20日

発行元 みやぎっ子ルルブル

推進会議事務局

(宮城県教育庁教育企画室)

TEL(022)211-3616



アニメむすび丸
©宮城県・旭プロダクション

ルルブル通信

みやぎっ子ルルブルフォーラムを開催しました！

平成29年1月29日(日)、夢メッセみやぎ西館ホールで「みやぎっ子ルルブルフォーラム」を開催しました。社会総ぐるみでルルブルの大切さを普及啓発するために各種表彰式や講演などを実施し、当日は約360名の様子が来場されました。今号では、当日の様子を詳しくご紹介します。

オープニングセレモニー・キッズコーナー



キッズコーナーのニュースポーツは、延べ327名が体験！



キャラバン隊とキッズダンサーズ、むすび丸によるオープニングセレモニー

基調講演 東北大学加齢医学研究所所長 川島隆太教授



ルルブルは早寝・早起き・朝ごはん・外遊び

「ルルブルのススメ～脳科学から『ルルブル』を詳しく解説～」と題し、川島教授にご講演いただきました。

睡眠、食事、外遊びの重要性を科学的なデータから分かりやすくお話いただいた中で、特に、スマートフォンを長時間使用すると、使用時間に比例して成績が下がっていくというお話が印象的でした。子供にスマートフォンを持たせる場合は、その功罪を話し合い、必ず使用時間などのルールを決めることが大切です。

子供たちの健やかな成長にとって大切な「寝る・食べる・遊ぶ」が、当たり前でできなくなってきている現代。まずは親や大人一人一人がルルブルの大切さを改めて認識するとともに、実践、継続し、社会全体で取り組んでいきましょう。

特別対談 川島隆太教授 × くわばたりえさん

夜8時半にお布団に入ることが大切やね！

「ルルブル子育て～元気な子どもを育てる“まほうの言葉”～」と題し、川島教授とタレントのくわばたりえさんに対談していただきました。

3人のお子さんを育てているくわばたさんは、お子さんを「見守る」ことが寝ることに繋がると、現在も実践されているそうです。また、子育て経験者なら共感できるエピソードばかりで、楽しいお話に何度も会場が沸いていました。

川島教授からは、子供の生活習慣が大切なことと、「子育てに迷ったときは、子供をぎゅっと抱っこして」と、アドバイスがありました。アンケートには、お二人の対談の続編を希望する声もあったほど、楽しくてためになる時間でした。





従業員は、会社の最も大切な経営資源。従業員の活力は充実した家庭生活から生まれるため、ルルブルの取組を研修などで積極的に後押ししていきます。

みやぎっ子ルルブル推進会議の会員を代表し、企業が取り組むルルブルについてお話いただきました。



皆さん真剣に聞き入っています。

みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体表彰



18団体の皆様、おめでとうございます！

<受賞団体>

【保育所・幼稚園部門】 4団体

- 大崎市松山子育て支援総合施設あおぞら園
- 気仙沼市立大谷幼稚園 第二光の子保育園
- 仙台市上野山保育所

【小学校・中学校部門】 14団体

- 仙台市立八幡小学校 仙台市立六郷小学校
- 大河原町立大河原南小学校 大和町立落合小学校
- 丸森町立筆甫小学校 大郷町立大郷小学校
- 女川町立女川小学校 登米市立米山東小学校
- 加美町立中新田小学校 栗原市立玉沢小学校
- 南三陸町立入谷小学校 南三陸町立名足小学校
- 仙台市立六郷中学校 気仙沼市立唐桑中学校

小学生ルルブルポスターコンクール表彰



表彰式に出席した16名の皆さんと記念撮影



金賞受賞者の作品はポスターにして、県内の各幼稚園・保育所・小学校等に配布しました。



<入賞児童>

(下学年の部)

(上学年の部)

【しっかり寝る部門】

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 金賞 加美町立中新田小学校 3年 岩松 楼心 | 金賞 名取市立愛島小学校 5年 新田 紗瑛 |
| 銀賞 仙台市立市名坂小学校 2年 及川 歩唄 | 銀賞 気仙沼市立面瀬小学校 6年 藤澤 天彩 |
| 銅賞 塩竈市立玉川小学校 3年 内海 元樹 | 銅賞 山元町立山下第二小学校 4年 木村 真衣 |

【きちんと食べる部門】

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 金賞 石巻市立飯野川小学校 3年 旭 柊 | 金賞 多賀城市立天真小学校 5年 上總 夏希 |
| 銀賞 名取市立愛島小学校 3年 小野寺 実季 | 銀賞 宮城教育大学附属小学校 4年 谷口 紗英 |
| 銅賞 仙台市立湯元小学校 3年 菊地 亜紀 | 銅賞 柴田町立槻木小学校 6年 大沼 和花 |

【よく遊ぶ部門】

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 金賞 大崎市立西古川小学校 3年 横堀 珠己 | 金賞 名取市立愛島小学校 5年 小野寺 香実 |
| 銀賞 大和町立吉岡小学校 3年 佐々木 紅愛 | 銀賞 東松島市立大曲小学校 6年 柏木 心寧 |
| 銅賞 仙台市立台原小学校 3年 細井 真里花 | 銅賞 仙台市立湯元小学校 6年 大場 春斗 |

平成27年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 取組紹介④

昨年度、みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体として17団体が表彰されました。
今回は県内の小学校3校をご紹介します。



大和町立吉岡小学校

～ ルルブル運動大好き よしおかつ子 ～

取組の内容

P T A総会や授業参観後の全体会、学校評議員会等、職員・保護者などが集まる様々な場で、睡眠時間の確保や朝食の大切さを保護者に呼びかけているほか、大和町の地場産品（米、野菜、まいたけ等）を食材にした給食を提供し、食の大切さを理解させています。

また、6年生が1年生のお世話や交流を通して、学校での生活の仕方や遊び方を教えているほか、吉岡小学校児童と大和中学校生徒が、通学ロードであいさつ運動を年8回実施して、心の交流を図っています。



取組の成果

保護者が、特に寝・食ベルに関心をもち始め、児童の就寝時間が一定になり、情緒が安定し生活リズムが向上しました。

また、6年生と1年生との交流は小1プロブレムの軽減に、小中合同あいさつ運動は、心の交流と中1ギャップの軽減につながりました。

石巻市立鹿又小学校

～ 心豊かで創造性に富んだたくましい児童の育成
— かしこく、のびのびとまっすぐ たくましく — ～

取組の内容

「健康生活カード」を活用し、家庭での学習時間や就寝・起床時刻を毎日記入しているほか、睡眠や食事と体や脳の成長、心の安定について指導しています。

また、給食時に放送委員会の児童が、献立紹介や給食センターの方々への感謝の言葉を放送しています。

さらに、業間時間に「スポーツタイム」を設定し、なわとび運動や持久走に取り組んでいるほか、異学年での縦割り活動「なかま」で、運動やあそびをしています。

取組の成果

一日の生活リズムを目で見ることで、睡眠時間や学習の時間、ゲームの時間を意識し計画的に取り組むようになってきています。

また、朝食の欠食がほとんどなくなってきているほか、給食の残食も少なく、健康な身体や運動（遊び）の大切さが分かり、休み時間には異学年でのサッカーや一輪車で遊ぶ姿が見られます。



栗原市立宮野小学校

～ 自分大好き 友達大好き ふるさと大好きな子どもを育てよう ～

取組の内容

長期休業明けには、「早ね・早おき・朝ごはんチェックカード」の記入を呼びかけ、実施しているほか、給食センター職員による栄養指導を実施しています。

また、低学年児童が生活科で作ったおもちゃなどで保育園児を遊ばせたり、共に遊んだりしています。学年間の縦割り班による全校長縄跳びや、体を使った遊び集会のほか、運動会や児童会主催のゲーム集会などでも縦割り班で活動しています。

取組の成果

保護者の意識が高まっているほか、早めの就寝、3食とる、特に朝食をしっかりとる子どもが増え（ほぼ100%）、朝食をしっかりとることで、朝の活動から意欲的に取り組める児童が増えてきています。

また、保育所の幼児、保護者、地域住民等とのふれあいの充実や、年間を通した「縦割り遊びでの交流」により、思いやり等が育ってきており、体力向上にもつながっています。

- みやぎっ子ルルブル推進会議では、会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集しております。詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、[登録書様式](#)によりお申し込みください。
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。



アニメむすび丸
©宮城県・プロダクション

担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局（宮城県教育庁教育企画室）
TEL：(022)211-3616 Email：kyoikupp@pref.miyagi.jp
URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/ruruburu/>



「学ぶ土台づくり」便り

第4号



宮城県では、ルルブル同様、社会総がかりで次世代を育てる幼児教育を展開するため、「学ぶ土台づくり」を進めています。

「学ぶ土台づくり」ミニ講座 第4弾!!

目標4 幼児教育の充実のための環境づくり

時代や社会情勢の変化に伴い、子供を取り巻く環境は大きく変わってきており、幼児教育に対するニーズも多様化しています。また、人とかかわる力や自制心、基本的な生活習慣の定着不足、就学直後の不適応や問題行動など子供自身が抱える様々な問題も表れています。

子供の健やかな成長を目指し、幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続や幼稚園・保育所等と小学校の連携、交流、特別な支援を必要とする子供への適切な対応など、家庭、地域社会、幼稚園・保育所等、行政といった関係する主体がそれぞれの役割を的確に果たすとともに、相互の連携強化を図っていくことが大切です。

平成29年度のお知らせ

改訂される教育要領及び保育指針案の中では、これまで以上に、幼稚園同士、幼稚園と保育所、認定こども園、さらに小学校との連携を図ることについてしっかりと明記されています。

県教委では、平成29年度は「学ぶ土台づくり」研修会の開催を2回に増やし、幼稚園・保育所・認定こども園・認可外保育施設そして小学校の教員・保育士対象の合同研修を開催する予定です。

開催日等決まりましたら、お知らせします。多くの先生方の参加をお待ちしております。



<今年度の研修会の様子>

目指す子どもの姿

元気いっぱい 夢いっぱい
誰かがやく“みやぎっ子”

～遊びや自然・人とのかかわりを通して、豊か心を育てよう～

- 目標1 親子間の愛着形成の促進
- 目標2 基本的な生活習慣の確立
- 目標3 豊かな体験活動による学びの促進
- 目標4 幼児教育の充実のための環境づくり

必見!!幼児教育の最新動向

平成28年4月に新たに国立の研究機関として幼児教育研究センターが設置されました。学力や所得等へ与える影響など、幼児教育研究の重要性の認識が近年高まったことを背景としたものです。ホームページ

(http://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenk_yuu_center/y_index.html)では様々な調査研究やその成果、幼児教育に関する最新情報を見ることができます。

また、現在、平成30年4月から実施予定となっている幼稚園教育要領(案)と保育所保育指針の改正案が公開され、3月15日までの期間でパブリックコメントが実施されています。ぜひご覧ください。

教育企画室からの

お 知 ら せ



教育企画室では、無料の出前講座を実施しています。今年度は、8つの幼稚園や保育所、小学校等で実施しました。出前講座では、保護者や教職員向けに「学ぶ土台づくり」や「基本的な生活習慣」、「子育て」についてのお話をしています。

また、平成23年3月に作成したリーフレット「うちの子の未来学」の配布も行っています。ぜひご活用ください。